

日韓交流70周年を迎え

鹿児島 李 絹代

私は、在日同胞として生まれ、いじめと差別で恨が残った
関東大震災時の韓国人虐殺の話を聞いて、さらに深まった

韓国ドラマ、K-POPの影響で、韓国の見方が変化した
世代も変わっていった

従軍慰安婦、徴兵問題は、お金で解決された
しかし、この問題は、引きずり続けている

それは、韓国人の心の恨の心情が、解決されたいないからでは
ないか

日韓交流70周年を迎えて、日本人は恨の心情とは何か、
韓国人は恨の心情の解放に、真剣に取り組んで欲しい

私は、在日同胞として、私から出来ること、
私にしか、出来ないことを模索し、
自分自身の恨の解放と、日韓交流の橋渡しを、
実践していこうと思う